



## NEWS RELEASE

米・水・人が原点です。  
**白鶴酒造株式会社**  
神戸市東灘区住吉南町四丁目五番五号  
TEL078-822-8903  
FAX078-841-8332

2004年9月16日

### ～酒粕に新しい機能性を見出す 癌予防やしわの発生防止効果が期待される～

白鶴酒造株式会社（本社：神戸市 社長：嘉納健二 資本金：4億9,500万円）では、兵庫県天然生理活性物質コンソーシアム（財団法人 新産業創造研究機構[NIRO]主催の産官学連携の研究会）において、複数の大学との共同研究の結果、酒粕中に癌の予防やしわの発生を防止する物質が含まれているとの新規な知見を得ました。今後の研究成果によっては、天然物由来の安全安心な素材として、健康食品や化粧品、さらには医薬品への応用が期待されます。本内容については、9月に東京（北とびあ）で開催されます日本醸造学会大会（9月7日～9日、本発表日9月9日）にて発表します。

今までにも様々な形で酒粕の生理活性については報告されていますが、今回、抗癌性を評価する新たな方法として癌細胞の増殖に関連する酵素群の活性抑制評価（神戸学院大学水品善之助教授）および抗癌性以外にもしわの発生や変形性関節症等にも関連している血管新生抑制評価（岡山県立大学松原主典助手）を行うことで、酒粕中の生理活性物質のスクリーニングを行ないました。その結果、いずれの試験においても明らかな効果が認められ、酒粕中に抗癌作用およびしわの発生防止効果等が期待できる物質が存在することを示す結果が得られました。現在、酒粕からこれらの有効物質を分離し明らかにする研究（神戸薬科大学棚橋孝雄教授）を進めており、あわせてこの素材を産業化するためのプロジェクトの立ち上げを計画しています。

研究の進捗状況については、新たな知見が得られ次第、随時各種学会や学術雑誌等にて公表していく予定です。

以上